

熱い想いが 四日市を変える!!

森ともひろ通信

第26号



あなたは 人目の読者です。 **38歳** 四日市市議会議員/公認会計士・税理士

【四日市市長選挙投票日:11月27日に決定】 31万人の市民の皆様と四日市の未来を切り拓きます!



四日市市選挙管理委員会は、12月23日に任期満了に伴う四日市市長選挙の日程を11月20日告示、同27日投開票と決定しました。

また、7月5日に行われた四日市市議会 6月定例月議会最終日の本会議にて、現職の田中市長は3選不出馬を表明しました。このことにより、次回の市長選挙後は新市長の下で四日市市政が始まることとなりました。

6月2日時点の選挙人名簿登録者数は248,394人です。

参議院選挙に続き、当市長選挙においても18歳以上に選挙権が与えられます。

若い世代にも四日市の未来を真剣に考えてもらえる大切な機会となります。

森智広は、31万人の皆様と四日市の未来を切り拓いていきます!

【低迷する市長選挙投票率】 ~大きなうねりを起こせるか~

低迷する投票率。四日市市では、各種選挙において市長選挙の投票率が最も低い水準となっています。前々回の平成20年市長選挙の投票率42.24%、前回の平成28年市長選挙の投票率34.90%（7月参議院選挙：57.62%、平成27年市議会議員選挙：48.16%）。

前回の市長選挙では、24万人の有権者の2/3、つまり16万人が投票を棄権しています。

四日市の政治を変えられるか。

真剣に31万人が四日市の未来について考える事の出来る市長選挙にしていかなばなりません。

《四日市市長選挙 投票率》

	平成12年	平成16年	平成20年	平成24年
投票率	31.41%	42.07%	42.24%	34.90%

森智広 活動報告 ~四日市の政治を変える!~

森智広はこれまで、朝の駅立ち、市内全域での市政報告会、街頭演説を継続してきました。どの政治家よりも、多くの市民の皆様と触れ合ってきた政治家であるという自負があります。

私はこれまで四日市市政に無関心であった層に訴えていきたいと思えます。

・駅立ち490日を超える!!

・街頭演説 5年、60か月連続実施中!!

・市政報告会 第4ステージ終盤! 190ヵ所を超える!!

出馬会見 要旨② ≪財政力向上、産業振興 編≫

前号の「出馬会見 要旨①」では、四日市市の『組織力、経営力向上』について取り上げました。

組織の経営では、如何に資金を獲得し、その資金を効果的且つ効率的に住民サービスの最大化につなげることが出来るかが重要になってきます。そこで私は、現在0.994である本市の「財政力指数」に着目し、「財政力指数」が1を超える値まで持っていくことが、更なる住民サービス向上に結び付く原資獲得につながると書きました。

様々なデータ分析が、四日市の未来を切り拓く多くの機会を与えてくれます。私は、それぞれの自治体を持つ強みを伸ばしていくことが各自治体の競争力強化につながると信じています。

四日市市の強みの一つに「財政力」があります。全国1,700を超える自治体の中で、平成26年度『財政力指数』が1を超える自治体は3.6%の64しかありません。ちなみに、四日市市は財政力が上から73番目と非常に高い位置にあるのです。正に四日市市の強みです。

四日市市の税収は600億円であることから、税収全体の3%向上で「財政力指数」は1を超えてきます。

なぜ、私は、『財政力指数』の1にこだわるのか。財政力指数が1未満の自治体には、足りない部分の資金を国から「地方交付税」によって補助されます、つまり簡単に説明すると財政力指数が1未満の自治体は税収が増えても財政力指数が1未満であれば、歳入全体の金額に大きな変化が生まれません。

一方で、財政力指数が1を超えると国が必要と認めたサービス提供の資金だけでなく、自治体が自由に使える資金が確保出来るのです。全国73番目の財政力を誇る四日市市だからこの点が重要なのです。

では、税収増加を如何なる方法で実現していくのか。税収増加を実現していくには、「地域経済の活性化」と「人口減少に歯止めをかける」ことが重要になります。

私は、税収増加を実現する方策として、『産業振興』と『子育て教育支援』の2つのポイントを挙げています。この2点は私の攻めの政策に該当します。

『産業振興』においては、企業誘致を含め、本市に新規、追加投資を呼び込む働き掛けを行っていく必要があります。これまで行ってきた投資企業に対する補助金の支給「企業立地奨励金制度」に加え、各種規制緩和の実現、そして、国内の石油化学産業が縮小する中、企業との連携を重視し、新しい産業の育成・サポートを行政が主体的に行っていくかねばなりません。

その軸として、四日市市は公害を克服したまちとして、世界でも有数の環境最先端都市を目指します。環境都市といっても規制で企業の活動を縛るのではなく、新技術を取り入れた水素エネルギー等の再生可能エネルギーを供給できるインフラ整備に力を入れ、世界に先駆けたスマートタウン構想等を実現していきます。

また、企業誘致を実現していくには、内陸型工業団地の整備も必要になります。停滞している工業団地の活用、そして市街化調整区域における柔軟な土地活用の実現等の取り組みにも踏み込んでいかねばなりません。積極的な新産業の育成・支援も必要になります。

(子育て教育支援については次号へ)

森ともひろ出馬会見 ノーカット版動画 [ぜひ、ご覧ください!⇒](#)  [森ともひろ](#)

森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選〔現役最年少〕
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選

役 職

平成24年度 総合交通政策調査特別委員会 副委員長
平成25年度 教育民生常任委員会 副委員長
平成26年度 朝明広域衛生組合 議長
平成27年度 産業生活常任委員会 委員長
※四日市ラグビーフットボール協会副会長



森 ともひろ後援会連絡先

〒512-1105 四日市市水沢町2452 TEL・FAX:059-329-2193
E-mail: genki@mori-tomohiro.net